

教育センター便り

長野市教育センター
 長野市大字鶴賀550番地2
 TEL 026-226-7486
 FAX 026-264-7570
 責任者 今井 睦俊



花粉症

真島小学校 六年

遠藤 結人

春になるとやって来る
 小さな小さな 怪物だ
 花に入ると種ができて
 鼻に入ると鼻水がでる
 芽からは葉がでて
 目からは涙がでる
 僕が花だったらよかったのに。

あー、涙が止まらない!!

～感動の味わい直して次へのエネルギーを～

教育センター所長 今井 睦俊



長野市教育センターでは、今年度も研修・研究、教育相談等様々な面から先生方や子どもたちに軸足を置きながら、事業を推進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、小学校では、運動会のシーズンでしょうか。以前お世話になっていたM小学校でのことです。

組体操を終えた6年生の女子3人（進行役等の児童）が本部テントに戻ってきました。見ると、3人とも泣き腫らした顔をしています。Aさんは「あー、涙が止まらない!!」と言いながら、しばらくの間大粒の涙を流して、しゃくり上げて泣いていました。友と創り上げた喜び、成功できたという達成感、満足感、これで終わりという寂しさ、様々な思いがAさんの中を駆け巡っていたのだと思います。その子のすぐ近くにお母さんが、やはり涙で顔をぐしゃぐしゃにしながら、次の種目の他のお子さんの応援をしておりました。保護者の方の涙はもっと別な思いが交錯していることとは思いますが、そんな姿を嬉しく思い、教育という場に置かせていただいているありがたさを感じました。

運動会后、5年生の保護者の方から担任のY先生へ、次のような手紙が届きました。

運動会お疲れ様でした。運動会の練習が始まって、本番が近づくにつれ、疲れが出てきて、大丈夫かなあと心配していました。

練習の時も当日もとても暑くて本当に大変だったと

思います。不安だった逆立ちも自分の力で克服し、色々あった騎馬戦（練習ではいつも白が負けてばかり）も5・6年生らしく話し合い、力を合わせる事が出来ました（当日は1勝1敗）。一つ一つの競技が高学年らしく、協力し合ったり助け合ったり、力を合わせている姿がとても心に残りました。人と折り合いを付けることの大切さ、その中でも自分の意見を言える強さ、一人では出来ない、みんなでやることの達成感。色々なことを学べた運動会だったのではないかと思います。見ていた私は、子どもたちの努力する姿や先生方のご指導に、色々感じる事が出来、「感動」の一言です。Y先生、本当にお疲れ様でした。すてきな運動会をありがとうございました。

当たり前かもしれませんが、感動を伴う子どもたちの豊かな学びを、しっかり保護者の方々に伝えることができると、必ずや共感や感動をもたらしてくれます。そして、その共感が保護者や地域の方々と「つながり」をより確かなものにしてくれると思うのです。

そして、目の前の子どもの豊かな学びをとらえ、もう一度子どもたちに返し、子どもたちとともに味わい直す場を持つことを大事にしてはどうでしょうか。その味わい直しの中で、子どもたちは学びを再構築し自覚していくことが可能になってくると思うのです。

今年度より、しなのきプランⅡがスタートしました。その中の「しなのきFinderの活用例」のポイントでも、「感情へ働きかける仕掛け」「振り返りの場面」の大切さが挙げられています。

コロナ禍も明けて2年目、運動会はじめてたくさんの活動が行われています。まずは子どもたちとしっかり向き合い、子どもたちの周りのたくさんの感動をとらえることを大事にしてはどうでしょうか。

今年度の研修講座 ～学び続ける教職員を目指して～ 学習観・子ども観の転換

今年度の研修講座は、自らの力量向上を目指す「一般研修」41講座（ユニット）、教職員のキャリアステージに応じて指定している「指定研修」66講座（ユニット）、合計107講座（ユニット）を構築しています。

一般研修では「学びの改善を図るための研修、健康・安全・危機管理にかかわる研修、教育課題に対応した研修」を開講します。

指定研修では、キャリアステージや校務に応じて、マネジメント力の向上、幅広い力量の形成を目指し、研修を計画しました。

いずれも文部科学省の教科調査官、信州大学をはじめとする大学の先生方等、大勢の外部講師を招聘し、充実した研修講座となるよう構築しています。

また、今年度よりスタートする「しなのきプランⅡ」の4つの重点プロジェクト（未来、絆、安全・安心、充実）との関連が分かるように各講座ごとに表記していますので、意識して受講を計画していただきたいと思います。

各講座の感想記入用紙は、今まで受講者の手元に残りませんでした。今年度から、受講後、感想記入用紙をスマホ等で写真にとるか、廊下にあるコピー機でコピーをとるかして、受講者の手元に残るようにしています。ぜひ、自分の受講履歴とともに、研修の足跡として大事に保存していきましょう。

初任者研修 ～春期スタート研修～

令和6年度の初任者研修の「春期スタート研修」（4月9日）が行われました。近藤 守 教育長職務代理者からは「初任の先生に期待すること」について講話をいただきました。



【受講者の感想】

「先生とは学び続けること」改めて大切なことだと感じました。子どもの実態をよく捉え、子ども中心の授業づくりが大切だと感じました。そのためには子どもとの「関係づくり」を大切にしていきたいです。授業に限らず、日々子どもたち一人ひとりと話したり遊んだりして生活していく中で育んでいきたいと思っています。また、子どもの姿から学ぶことを大切にして、子どもの言動をよく見る「目」を作っていきたいと思っています。

また、「教育公務員として」、「教員としての礼儀マナー」等についての講義を通して、求められる使命や任務を理解し、目指す教師像を考えました。

【受講者の感想】

教員としてだけでなく、社会人としてきちんとしたマナーを身につけることは大切なことであると感じました。同僚の先生とチームとして、子どもたちを支援していくために、先輩や同僚の先生へのあいさつや報告、連絡、相談にプラスして、確認するということが大切だと学びました。先輩の先生から多くのことを学んでいきたいと思っています。

（佐藤 文博・小林由起子）

理科教育センター

本年度は、下記の学習、教職員研修、支援を行っています。

1 理科教育センター学習

6年生の学習は、学級毎に1時限80分の授業を3時限行います。3時限のうち2時限は実験室で観察実験授業、1時限はプラネタリウムで天文授業を行います。観察実験授業は、今年度より、プログラミング学習を加えた9つの授業の中から、各小学校が選んだ2つの授業を行います。学級担任（理科専科）の先生方には事前に学習指導案をお送りして、授業内容を理解していただき、サブティーチャーとして一緒に授業を進めていただきます。

4年生の天文学習は、希望した小学校がプラネタリウムを使用して、原則3学期に行います。1時限70分の授業です。

教育支援センター（旧中間教室）の理科学習は市内各教育支援センターの皆さんが理科教育センターに来て行います。中学生が多いため、6年生の学習をベースにして、中学の学習内容を加味した授業を春と秋の年2回行います。

2 理科研修講座

市の教育センター研修講座として行います。受講者の自己課題やニーズに沿った研修ができるように、講座の内容を工夫していきたいと考えています。ふるってご参加ください。

3 理科教育に関する学習支援

「しなのき派遣」により、理科室の整備、薬品庫の管理、教材教具の製作等、理科教育に関すること全般のお手伝いをします。また、先生個々の疑問や課題を解決するための講習（個別講習）を行います。電話でご相談ください。

教材の提供（ハウセンカ・オシロイバナの種子、ホテイアオイ、メダカ、ミドリムシ、ゾウリムシ、火山灰、小学3年種子セット、オオカナダモ等）と実験器具の貸し出しを行います。（小中別の貸出備品一覧表を第1号の理科教育センターだよりに添付して送信済みです。）

4 理科学習についての情報発信と連携

「理科教育センターだより」、「星のたより」を発行して、教材や指導方法、その時々の特ピックを紹介して、学校の理科学習に生かせるようにしていきたいと考えています。

学校現場のニーズに応える支援に努めてまいります。今年度も理科教育センターをご活用ください。

（中野 潔）

教育研究委員会

「しなのきプランⅡ(令和6年度版)」と長野市
教育課題を踏まえ、共通テーマを「非認知能力を育
む」とし、【子どもを観る・子どもの声を聴く・子
どもと対話する】ことなどを通して、子どもが主体
的に学び、他者と協働しながら問題を解決していく
力を育む授業を目指し、ICTの活用を図りながら
実践的な研究を推進していきます。



(写真は昨年度の公開授業の様子)

令和6年度も長野上水内教育会との共同研究を継
続し、研究の成果を「教育センター便り」や「長野
市の教育」で市立小・中学校に発信したり、研修講
座で実践発表したり、授業動画をポータルサイトに
掲載したりして自ら学び続ける教職員研修の充実を
はかってまいります。

各委員会のねらいと世話係、委員

□代表 ◇世話係校長 ◆世話係教頭

◎委員長 ○副委員長

◆道徳教育研究委員会

一人一人の子どもが自己を見つめ、物事を広い視
野から多面的・多角的に考え、自己の生き方や人間
としての生き方について考えを深める授業づくりを
進めていきます。

◇松谷かおる(牟礼小) ◆臼田瑞希(浅川小)
◎山田 大(寺尾小) ○中村直樹(東部中)
・玉井大和(吉田小) ・吉田なぎさ(通明小)
・佐藤伸一(保科小) ・宮澤理実(松代中)
・中澤徹也(市立長野中)

◆教科研究委員会

委員会テーマに基づいた実践的な研究を進めてい
く中で、非認知能力を育むための授業づくりを進め
ていきます。

<国語科研究委員会>

□◇千野布美子(長野中) ◆依田 学(古里小)
◎若林悠実(昭和小) ○堀内優子(市立長野中)
・宮坂康汰(古牧小) ・徳竹玲奈(裾花小)
・樋口達也(櫻ヶ岡中) ・上條祐輔(川中島中)
・塚本真里子(信濃小中)

<社会科研究委員会>

◇阿部悦夫(青木島小) ◆新家 肇(山王小)
◎塚尾誠貴(市立長野中) ○小田切洋輔(長沼小)
・吉田大輔(鍋屋田小) ・塚原昌裕(通明小)
・山口僚馬(柳町中) ・三溝高洋(櫻ヶ岡中)
・黒岩正章(信州新町中)

<算数・数学科研究委員会>

◇山中美佳(戸隠中) ◆増田智子(裾花小)
◎西澤雄貴(東北中) ○秋山佳樹(川田小)
・町田怜香(裾花小) ・阿部将樹(南部小)
・春日夏知(篠ノ井西中) ・菊池大樹(飯綱中)
・藤本健史(市立長野中)

<理科研究委員会>

◇小林俊子(芋井小) ◆下條陽子(鍋屋田小)
◎小坂和也(川中島中) ○神山夏実(若槻小)
・金箱仁志(緑ヶ丘小) ・竹内 輝(裾花小)
・増尾知之(三陽中) ・畔上達也(裾花中)
・野沢知加(市立長野中)

<外国語活動・外国語科研究委員会>

◇嶋田勝彦(櫻ヶ岡中) ◆高木 淳(北部中)
◎白鳥友樹(市立長野中) ○湯澤成実(飯綱中)
・湯本裕太郎(城山小) ・丸山綾子(南部小)
・宮島未久(浅川小) ・山内 薫(柳町中)
・宮尾葉子(篠ノ井東中)

<体育・保健体育科研究委員会>

◇佐藤俊彦(大岡小) ◆柳澤 誠(篠ノ井西小)
◎古平恵里(信濃小中) ○青木孝文(市立長野中)
・久保田智絵美(緑ヶ丘小) ・小林祐太(柳原小)
・佐藤大将(松ヶ丘小) ・柳沢 新(櫻ヶ岡中)
・中曽根佑哉(裾花中)

委員は、それぞれ授業公開を行います。長野市教
育センターの研修講座において、初任研(2年次)、
キャリアアップⅠ・Ⅱの研修となる授業もあります。
大勢の先生方に参観していただきたいと思います。
(宮澤 剛彦)

就学相談を進めるに当たって ～教育相談を申し込む前に～

就学相談は何のため

今年も就学相談の申込みが始まっています。就学相談の目的は、「それぞれのお子さんにとって「適切な学びの場」を検討することにあります。

各学級には、多様なお子さんがいます。どの子どもも本当は、学習が出来るようになりたい、みんなと一緒に遊んだり、行事に参加したりしたいという願いをもっています。そう願っているけれども、上手くできずに学習につまずいてしまったり、活動に参加できないでいたりといった苦しい思いをしている子に寄り添いながら、それぞれのお子さんにどのような支援をしたらよいのか考え、学習環境の改善と支援を工夫して、一人一人のお子さんが前向きに学校生活を送ることができるようにすることが大切です。

校内支援体制の見直しを

小中学校の学習や教育活動は、全ての子どもたちが通常の学級で授業や生活をしていくことが基本です。就学相談を申し込む前に、まず、学校内でできることを見直していただきたいと思います。

- ① 今年度からスタートした長野市しなのきプランⅡ「絆プロジェクト」にあるように、「認め合い、多様な個性が生かされ、全ての子どもたちが自分の良さを発揮できるようなインクルーシブな学校づくり」を推進する。

- ② 各担任は、インクルーシブ教育の考えに基づきユニバーサルデザインや、合理的配慮をしながら、学級内にいる全ての子どもに対して全体として、また個人として学習の理解や活動への参加の支援を工夫する。
- ③ 教頭や特別支援コーディネーターが中心となって「校内教育支援委員会」を有効に機能させ、校内体制の中で個々の情報を共有し、外部専門家等を含めた「チーム学校」として、子どもたちの支援を充実させる。
- ④ 学校が積極的に子どもの願いと、保護者の願いをくみ取り、学校が主体的に指導や支援の取り組みを考えて保護者に丁寧に説明し、保護者との合意による子ども中心の学校生活作りを進め、信頼関係作りに努める。

最後に

就学相談は、教育支援委員会の判断を基に特別支援学級等に入級することで終わりではありません。そこからが新たな支援の始まりです。「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」を策定し、計画的に個々の児童・生徒の支援を重ねながら学習環境の改善と、充実した学校生活を導き出していきましょう。
(北沢 浩美)

職員と直通電話等の紹介

令和6年度の職員と直通電話番号等をお知らせします。ご活用ください。

担 当	職 員	電話 (T) / fax (F)
総務担当	所長：今井睦俊 総務担当主任：中村博幸 職員：清水和彦 唐澤文子	T 226-7486 (代表) F 264-7570 (代表)
研修・研究担当	主任指導主事：佐藤文博 指導主事：小林由起子 末松辰規 大上みどり 中澤康匡 宮澤剛彦 両角宏和 (兼務)	T 223-0070 F 223-0097
理科教育センター	指導主事：中野 潔 池田淑恵 早川和仁	T 284-4490
就学相談担当	主任指導主事：北沢浩美 指導主事：大井 透 中澤 寛 八田秀明 小林治雄 池上昭子 村田章子 小出まゆみ 櫻井真治 小尾昭人	T 264-6546 228-0950 F 226-7509 T/F 226-7509

編集後記

大規模な太陽フレアが複数回観測され、普段見ることができない地域でもオーロラが観測されたほか、電力系統やGPSなどで異常が報告されたそうです。来年頃をピークに大きな太陽フレアが発生する可能性が高まっているとのこと。各地でオーロラ観測に期待が高まりますが、通信障害など生活への影響が出ないと良いですね。